

## 春まきレタスの播種期と品種

佐々木 丈夫・川村 邦夫\*

(宮城県園芸試験場・\*宮城県農業普及課)

Sowing Date and Cultivar of Crisp Head Type Lettuce for Spring Sowing

Takeo SASAKI and Kunio KAWAMURA\*

(Miyagi Prefectural Horticultural Experiment Station・\*Agricultural  
Extension Section of Miyagi Prefectural Government Office)

### 1 はじめに

宮城県の野菜の作付面積は昭和39年の20,685haをピークとし、昭和57年には12,500haで、多くの作目は作付面積が減少、あるいは横ばいとなっている。その中で、レタスは他の洋菜類とともに作付面積が増加傾向にある。昭和51年の作付面積96ha、生産量1,710tに対し昭和57年には、作付面積169ha、生産量3,550tとなっている。消費動向からみて、今後とも需要の増加が期待される品目である。県内の集団産地はまだ少なく、今後、都市近郊地帯の既存産地の生産体制を強化するとともに、新産地を育成する必要がある。

春～初夏まき夏どりレタスの作型では、生育後期における軟腐病の多発生、変形球や舟底球等の異常結球、抽台等による商品性の低下が問題となっている。

近年、レタスの品種も数多く発表されており、グレートレイクス系の品種とともに、耐暑性のあるマックスソイル系の品種の重要度が高まっている。本試験では、グレートレイクス系及びマックスソイル系の極早生、早生の晩抽性品種を供試して、栽培期間を短縮し、安定生産をはかるため、播種期をかえて、生育、収量、品質について、昭和57年から2か年間検討した。

### 2 試験方法

昭和57年は、マイレタス、トップマーク、オリンピック、オーガスタを供試し、播種期を4月8日(5月10日定植)、5月10日(6月10日定植)、6月10日(7月8日定植)とした。4月8日及び5月10日播種については透明マルチを用い、6月10日播種については白黒ダブルマルチを用いた。栽植距離は、ベッド幅80cm、通路幅60cm、株間30cm、2条千鳥植え、a当たり476株植えとした。a当たり成分施肥量は、窒素、リン酸、加里とも2.0kgとし、緩効性肥料を用いて全量基肥とした。

昭和58年は、供試品種をマイレタス、トップマークの2品種にしぼり、播種期を4月6日(5月2日定植)、4月25日(5月24日定植)、5月21日(6月16日定植)とした。4月6日及び4月25日播種については透明マルチを用い、

5月21日播種については白黒ダブルマルチを用いた。栽植距離、種子は昭和57年と同一条件にした。

### 3 結果及び考察

昭和57年の4月8日播種では、マイレタス、トップマークのa当たり収量が約300kgに対し、オリンピック、オーガスタは約250kgであった。マイレタス、トップマークは播種から収穫始めまで約70日であったのに対し、オリンピック、オーガスタは約65日であった。球型はマイレタス、トップマークが偏平球であったのに対し、オリンピックは球型、オーガスタは腰高球であった。各品種とも、異常結球や病株の発生は極めて少なかったが、オリンピックで不結球株率が11.3%であった。

5月10日播種では、4月8日播種と比較して、各品種とも軟腐病の発生が多く、上物率は80%以下で低収となった。4品種中では、マイレタスの収量が最も多くa当たり218kgとなり、他の品種は200kg以下であった。

6月10日播種では、いずれの品種も抽台はほとんどみられなかったものの、異常結球、軟腐病が多発生したため、正常球は皆無であった。

57年の播種期別では、各品種とも4月>5月>6月の順に収量が多く、異常結球の発生は少なかった。栽培期間が4月から8月の場合、低温期ほど生育が良好で、平均気温が20℃以上となる7月以降は、異常結球、病株の発生が多く、7月下旬以降の日照不足も異常結球発生を多くした要因と思われる。

昭和58年の4月6日播種では、5月2日の定植後、強風と乾燥により活着が悪く、初期生育が遅延した。マイレタス、トップマークとも前年同期の作型と比較して欠株が多く、やや低収となった。品種間では収量に差がみられず、両品種とも播種後70日目で収穫期に入った。収穫球の重量規格では、トップマークがL級(500~650g)の比率が高かったのに対し、マイレタスではLL級(650g以上)の比率が高かった。

4月25日播種では、育苗期及び定植後前半の生育は順調であったが、結球期に入って軟腐病が多発生し、両品種とも収穫皆無であった。

表1 播種期別及び品種別の収量とその特性(昭和57年)

| 播種期               | 品 種    | 全 重<br>(g) | 球 重<br>(g) | 球 径 (cm) |      | 球心長<br>(cm) | 収 穫<br>始 期 | 収 穫<br>終 期 | 障 害 株 率 (%)  |              |       | 収穫株<br>率<br>(%) | a 当<br>た り 収 量<br>(kg) |
|-------------------|--------|------------|------------|----------|------|-------------|------------|------------|--------------|--------------|-------|-----------------|------------------------|
|                   |        |            |            | タ テ      | ヨ コ  |             |            |            | 異 常<br>結 球 率 | 不 結 球<br>株 率 | 病 株 率 |                 |                        |
| 4<br>月<br>8<br>日  | マイレタス  | 1,130      | 630        | 13.6     | 14.6 | 3.7         | 6/17       | 6/21       | 0            | 0            | 1.2   | 98.8            | 296.3                  |
|                   | トップマーク | 1,160      | 640        | 13.6     | 15.1 | 3.8         | 6/16       | 6/21       | 0            | 3.8          | 2.4   | 93.8            | 285.8                  |
|                   | オリンピック | 960        | 580        | 13.8     | 13.8 | 3.2         | 6/12       | 6/17       | 1.3          | 11.3         | 2.4   | 85.0            | 234.7                  |
|                   | オーガスタ  | 950        | 560        | 13.7     | 12.2 | 2.9         | 6/13       | 6/18       | 0            | 6.3          | 1.2   | 92.5            | 246.6                  |
| 5<br>月<br>10<br>日 | マイレタス  | 1,130      | 590        | 13.0     | 15.4 | 4.0         | 7/20       | 7/23       | 2.5          | 3.8          | 16.2  | 77.5            | 217.7                  |
|                   | トップマーク | 1,070      | 520        | 13.3     | 15.5 | 4.3         | 7/20       | 7/23       | 1.3          | 5.0          | 24.9  | 68.8            | 170.3                  |
|                   | オリンピック | 980        | 580        | 12.9     | 14.3 | 3.2         | 7/17       | 7/22       | 6.3          | 0            | 29.9  | 63.8            | 176.1                  |
|                   | オーガスタ  | 1,000      | 560        | 13.5     | 14.3 | 3.6         | 7/17       | 7/22       | 21.3         | 0            | 17.4  | 61.3            | 163.4                  |

表2 播種期別及び品種別の収量とその特性(昭和58年)

| 播 種 期    | 品 種    | 全 重<br>(g) | 球 重<br>(g) | 収 穫<br>始 期 | 収 穫<br>終 期 | 球 型<br>指 数 | 緊 度<br>指 数 | 障 害 株 率 (%)  |              |       | 良 株 率<br>(%) | a 当<br>た り 収 量<br>(kg) |
|----------|--------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|--------------|--------------|-------|--------------|------------------------|
|          |        |            |            |            |            |            |            | 異 常<br>結 球 率 | 不 結 球<br>株 率 | 病 株 率 |              |                        |
| 4 月 6 日  | マイレタス  | 1,135      | 612        | 6/15       | 6/23       | 1.22       | 38.86      | 0            | 3.8          | 0     | 80.0         | 232.9                  |
|          | トップマーク | 1,105      | 580        | 6/15       | 6/27       | 1.21       | 39.46      | 2.5          | 2.5          | 0     | 86.2         | 237.7                  |
| 5 月 21 日 | マイレタス  | 696        | 477        | 8/6        | —          | 1.17       | 31.80      | 30.0         | 0            | 70.0  | 0            | 22.5                   |
|          | トップマーク | 824        | 478        | 8/6        | —          | 1.15       | 31.04      | 16.7         | 0            | 83.3  | 0            | 17.6                   |

5月21日播種では、育苗期の生育は順調であったが、定植後の茎葉重の増加が遅れた。結球期に入り、軟腐病の多発生と異常結球の発生により、両品種とも良球は得られなかった。

58年も前年に引き続き異常気象となり、6月中旬から7月下旬の日照不足が生育、球肥大に影響を及ぼしたと思われる。

#### 4 ま と め

2か年間の試験結果から、4月上旬に播種して6月中に収穫を終了する作型が、前期、後期とも生育が順調で、結球期の病害や異常結球が少なく、良品率が高かった。品種

はマイレタスとトップマークが適していた。

従来のグレートレイクス系品種を用いた3月播種6月収穫の作型と比較し、マイレタス、トップマークを用いれば栽培期間を15～20日間短縮することが可能で、良品率、収量も高いことが認められた。

7月以降収穫となる作型では、初期生育は良好であったが、結球期に入ると病株や異常結球が多発生して、著しく低収となった。7月以降収穫となる作型の確立については高温・肥沃向きタイプのマックスソイル系品種の検索、細菌性病害回避のための雨よけ栽培導入等について、更に検討が必要と思われる。